

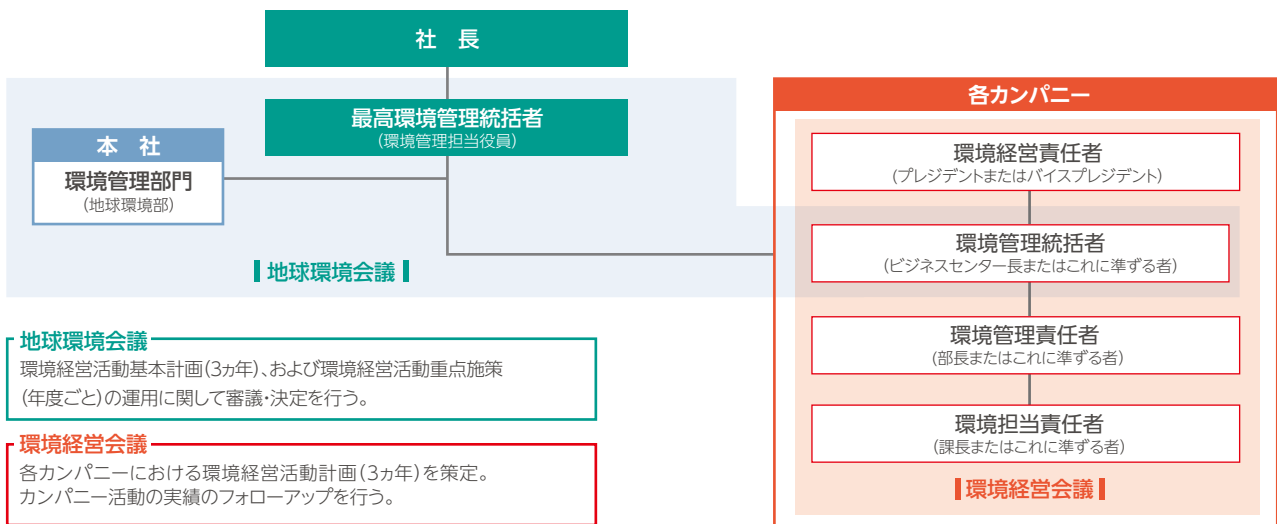
環境経営の基盤

環境管理・エネルギー管理組織

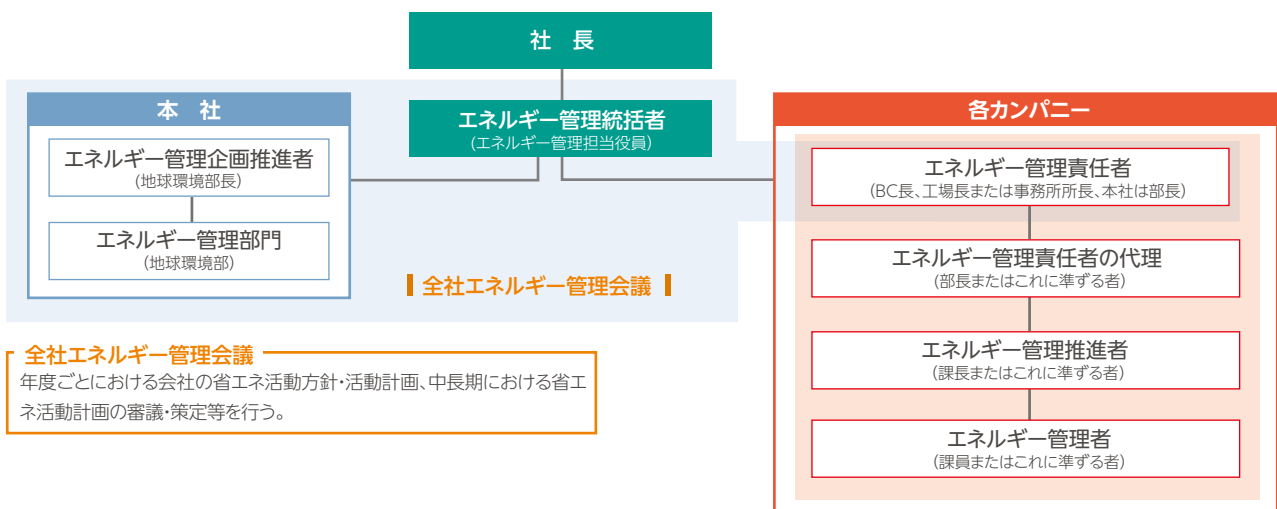
川崎重工は、環境管理においては、最高環境管理統括者（環境管理担当役員）を選任するとともに、最高環境管理統括者を議長とする「地球環境会議」において、さまざまな重要事項を審議し決定しています。また、環境経営活動基本計画がそれぞれの事業部門で主体的に展開できるよう、各カンパニーの組織に対応して、環境経営責任者、環境管理統括者、環境管理責任者、環境担当責任者を選任し、全員が一丸となって環境への取り組みを推進できる環境管理体制を確立しています。

エネルギー管理においては、エネルギーの有効利用を推進するため、エネルギー管理統括者（最高環境管理統括者）を選任するとともに、各カンパニーの事業規模に応じたエネルギー管理者等を配置するなど、エネルギー管理体制を構築し、積極的な活動を展開しています。なお、関連会社の環境管理・エネルギー管理組織は、各所管理部門（本社／カンパニー）の下、構築されています。

環境管理組織



エネルギー管理組織



2014年度 環境経営計画の策定について

2013年度からはじまる2015年度までの第8次環境経営活動基本計画（以下第8次計画）では、「事業経営」に「環境経営」を整合させた基本方針を定め、環境ニーズを先取りした省エネルギー・省資源化の加速と魅力あるKawasaki環境ブランドの構築を主テーマとして、①低炭素社会の実現、②循環型社会の実現、③自然共生社会の実現、および④環境マネジメントシステムの確立の4つの課題について重点施策を定め、環境管理活動を推進しています。

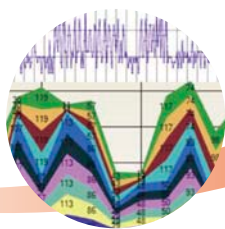
2014年度からは、これらの施策の一層の強化を目的として、「Kawasaki グリーン製品促進活動」を開始しました。

事業経営への整合と環境貢献の促進

重点施策	目 標
低炭素社会の実現 CO ₂ &エネルギー削減	エネルギー見える化システムの活用 2015年度までに、“CO ₂ 排出量・エネルギー使用量”を年間5%以上削減するための設備化と体制を構築する。
	製品貢献によるCO₂排出量の削減 累積値を当初各事業部門計画値以上とし、CO ₂ 排出量の削減を社外に発信する。
循環型社会の実現 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進	廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化の推進 廃棄物総排出量を原単位で削減し、ゼロエミッションを堅持する。 リサイクル率を前年度実績以上とする。
	PCB処理の推進 低濃度PCB廃棄物は最善の処理方法を検討し採用する。
自然共生社会の実現 環境負荷物質削減/ 資源保全推進	化学物質の削減 主要VOC*は原単位で第7次計画の実績平均以下とする。 重金属は2020年度までの原則ゼロ化を目指して削減する。
	森林保全活動の継続 森林保全活動を年2回以上実施する。
	水の省資源化 使用量・排水量を削減する。
環境マネジメントシステム (EMS)の確立 川崎重工グループの環境管理体制の充実	国内本体および主要な連結子会社の環境マネジメント力強化 合理的な削減目標を設定し、適切にフィードバックする。
	海外関連企業の環境マネジメント力強化 情報共有化を進め、海外拠点の課題を抽出、支援する。
Kawasaki グリーン製品促進活動	適合性評価の実施 環境配慮に対する製品の適合性を総合的に審査し、登録する制度を構築する。
	社内外への情報発信 ISO14021に準じ、製品の環境側面を発信する。

*主要VOC：当社グループでは、トルエン・キシレン・エチルベンゼンを主要VOCとしています。（VOC：揮発性有機化合物(Volatile Organic Compounds)）

2020年 川崎重工グループのイメージ



- エネルギー使用量とCO₂排出量
大幅に削減
- 製品貢献
使用時のCO₂排出量を大幅に削減



- 3R
原単位で大幅に削減
リサイクル率97%以上
ゼロエミッションは堅持
- PCB処理
すべての処理を終了



- VOC
原単位又は総量で大幅削減
- 重金属
使用量を大幅に削減
- 森林保全活動
森林保全活動を継続



- EMSの構築
川崎重工グループで構築完了

グループミッション

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する
“Global Kawasaki”

環境ビジョン2020

低炭素社会の実現

エネルギーを無駄なく利用する製品とものづくりで
グローバルに地球温暖化防止に貢献

- ①2020年の温室効果ガスの排出量を、国の目標に合わせて削減している。
- ②エネルギーを有効に利用する製品・サービスを顧客に提供し、地球規模で温室効果ガスの排出を削減している。
- ③生産過程や物流過程における省エネルギーを推進し、温室効果ガスの排出削減を行っている。

循環型社会の実現

資源を無駄なく利用する製品とものづくりで
有限な資源を大切に活かし切り、循環させる

- ①資源を有効に利用する設計を推進し、製品の軽量化や耐久性・リサイクル性などの向上を推進している。
- ②生産活動での3R（廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化）を推進し、全工場のゼロエミッションを達成している。
- ③全てのPCB廃棄物とPCB含有機器の適正処理を完了している。

自然共生社会の実現

地球環境に調和した製品とものづくりで、
環境負荷を下げ、生態系の保全に貢献

- ①大気汚染や水質汚濁を防止する製品・サービスを顧客に提供し、環境の改善や生態系の保全を推進している。
- ②製品への化学物質の使用を削減するとともに、生産活動での化学物質の使用を削減している。
- ③地域の森林保全活動など、生態系の環境を保全する活動に協力している。

環境マネジメントシステムの確立

環境ビジョン2020を実現する環境経営の基盤づくり

- ①国内外の全ての連結子会社がEMSを構築し、グループ全体で環境経営を推進している。
- ②環境法令を遵守し、定期的な遵守状況のフォローを行っている。
- ③社内外へ環境情報を発信し、双方向の対話を持ちながら環境保全活動をしている。

2013年度 活動実績評価

第8次環境経営活動基本計画(2013~2015)	
低炭素社会の実現	<p>重点施策 CO₂&エネルギー削減</p> <p>1.エネルギー見える化システムの活用</p> <p>取組内容 エネルギー見える化システムを活用した改善活動によりCO₂排出量、エネルギー使用量を削減する。</p> <p>目標 2015年度までに、年間のCO₂排出量およびエネルギー量を5%以上削減する。</p> <p>2.製品貢献によるCO₂排出量削減</p> <p>取組内容 エネルギー関連製品、輸送関連製品、産業機械・その他製品の別にCO₂削減量を算定する。</p> <p>目標 製品貢献によるCO₂排出削減量の累積値を当初各事業部門の計画値以上とする。</p>
	<p>重点施策 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進</p> <p>1.廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化の推進</p> <p>取組内容 廃棄物総排出量の削減対策を確実に実施する。 サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルやリユースへの高度処理移行を推進する。</p> <p>目標 廃棄物総排出量を原単位で削減し、ゼロエミッションを全事業場で堅持する。</p> <p>2.PCB処理の推進</p> <p>取組内容 適正処理計画を策定しフォローする。</p> <p>目標 高濃度PCB廃棄物は、JESCO*への処理を着実に実施する。 低濃度PCB廃棄物は、最適な方法で処理する。 *日本環境安全事業株式会社</p>
循環型社会の実現	<p>重点施策 環境負荷物質の削減</p> <p>1.化学物質の削減</p> <p>取組内容 有害物質を含まない代替材料や含有濃度の低い材料への切り替えを行う。 化学物質の回収処理等の活動により、大気放出、事業場外への移動量を削減する。</p> <p>目標 主要VOCは、原単位で第7次計画の実績平均以下とする。 重金属は2020年度までに原則ゼロ化を目指して削減する。</p>
	<p>重点施策 資源保全推進</p> <p>1.森林保全活動</p> <p>取組内容 森林保全活動を継続実施する。</p> <p>目標 森林保全活動を年2回以上実施する。</p> <p>2.水の省資源化</p> <p>取組内容 節水活動などを推進する。</p> <p>目標 使用量・排水量を削減する。</p>
自然共生社会の実現	<p>重点施策 川崎重工グループの環境管理体制の充実</p> <p>1.当社および国内関連企業の環境マネジメント力の強化</p> <p>取組内容 環境データをステークホルダーに発信する。</p> <p>目標 合理的な削減目標を設定し、適切にフィードバックする。</p> <p>2.海外関連企業の環境マネジメント力の強化</p> <p>取組内容 環境データを把握し、環境パフォーマンス(環境への負荷やそれに係る対策の結果)を評価する。</p> <p>目標 法規制その他要求事項を把握し、環境リスク低減を支援する。</p>
	<p>重点施策 Kawasaki グリーン製品促進活動</p> <p>1.Kawasaki グリーン製品適合性評価制度構築</p> <p>取組内容 製品の自己宣言によって環境主張を行う制度を構築する。</p> <p>目標 ISO14021に準拠した制度構築を行う。</p>
環境マネジメントシステムの確立	

2013年度実績	評価	記載ページ
<p>CO₂&エネルギー削減</p> <p>1.エネルギー見える化システムの活用 エネルギー見える化システムを導入し、改善活動を開始した。</p>	○	▶ P.10
<p>2.製品貢献によるCO₂排出削減量 製品貢献によるCO₂排出削減量の2013年度累積値は74.1万t-CO₂となった。</p>	△	▶ P.9
<p>3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進</p> <p>1.廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化の推進 廃棄物総排出量を原単位で前年度比0.52ポイント改善し、最終処分率は1%以下とゼロエミッションを堅持した。</p> <p>2.PCB処理の推進 高濃度PCB廃棄物は、JESCOでの処理を継続した。 低濃度PCB廃棄物は、処理情報を収集し、各事業部門に情報展開した。</p>	○	▶ P.13
<p>環境負荷物質の削減</p> <p>1.化学物資の削減 主要VOC、ジクロロメタン、重金属とも削減活動を推進した。</p>	○	▶ P.14
<p>資源保全推進</p> <p>1.森林保全活動 兵庫県、宮城県、高知県で従業員、およびその家族による森林保全活動を継続した。</p> <p>2.水の省資源化 節水活動を推進し、2013年度の使用量実績を収集した。</p>	○	▶ P.14
<p>川崎重工グループの環境管理体制の充実</p> <p>1.国内関連企業の環境マネジメント力の強化 当社が使用する環境情報管理システム(ECOKEEP)を導入し、環境データの収集を開始した。 環境情報をステークホルダーに発信した。</p> <p>2.海外関連企業の環境マネジメント力の強化 環境データの把握・集計を実施し、環境リスクの低減を推進した。</p>	○	▶ P.16
<p>Kawasaki グリーン製品促進活動</p> <p>1.Kawasakiグリーン製品適合性評価制度構築 ISO14021に準拠し、製品性能と環境管理活動の両面からの環境貢献についての適合性評価を行う制度の構築を行った。</p>	○	▶ P.20